

国際広報メディア・観光学専攻

観光創造研究コース

令和8年度
前期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25字×40行=1000字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
8. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1600～2000 字の日本語(横書き)で記述しなさい。なお、適当な箇所で改行して段落に分けること。また、字数は改行のための空を含めて計算する。

近年、観光とメディアは不可分な関係になりつつあります。メディアは、観光の動機付け、観光先での宿泊や移動手段の検索や手配、そして観光先での体験の記録や共有媒体として、あるいは物理的な移動を伴わないオンライン観光の媒体としても欠かせません。観光先に行かなくても現地の情報が事前に様々なメディアから入手できる状況は、より観光者の望む、計画された観光の利便性へとつながります。逆に、こうした状況がゲストまたはホストにもたらすネガティブな影響はあるでしょうか。具体例を挙げながら、その影響と課題点に関して、あなたの考えを論理的に述べて下さい。